

大雪と石狩の自然を守る会

会報『ヌタプカムシペ』08/5月号を発行

通巻 137 号。この会報の表紙を飾る山に咲いたコブシの写真が美しい。その下に次の目次があります。中をのぞくと、実績、計画ともに詳細・多彩で、歴史を重ね培ってきた会の着実な活動が伺われ敬服します。

特集 2008年度定期総会報告

7年度活動報告・決算／08年度活動計画・予算／08年度新役員
自然学園「グリーンフォーラム旭川」活動計画
大雪山講座「ひぐま大学」フィールド講座一覧
07年度 会の動き 活動フラッシュ
市民トーク「北海道の森林を考える」より
『森林・林業の紹介の機会を頂いて』 渡辺大介さん

2008年の活動計画（細部略）

[I] 自然を守り回復する運動

1. 大雪山に関する取り組み

- ① 世界遺産則年と枠組みを生かした保全活動
- ② 大雪山国立公園におけるパトロール活動
- ③ 防衛省上富良野演習場拡張問題
- ④ 関係行政機関・自治体との話し合い・要請・提言当の活動

2. 石狩川に関する取り組み

- ① 水辺環境保全に関する活動
- ② 野生サケを回復させる活動
- ③ 学習会・後援会等の実施
- ④ 関係行政機関・自治体との話し合い・要請・提言当の活動

3. 森林に関する取り組み

- ① 大規模林道に関する活動
- ② 天然林を保全する活動
- ③ 関係行政機関・自治体との話し合い・要請・提言当の活動

4. 身近な自然に関する取り組み

- ① 旭川周辺部の緑地の保全と回復に関する活動
- ② セイヨウオオマルハナバチに関する取り組み

〔Ⅱ〕 自然保護を広める活動

1. 自然・環境教育の取り組み

- ① 大雪山講座「ひぐま大学」の開講
- ② 自然学園「グリーンフォーラム」の開講
- ③ 環境アドバイザー活動の推進
- ④ 会組織の見直し

2. 広報活動

- ① 機関誌の発行
- ② ホームページの充実
- ③ 加盟組織・友好団体との交流提携

北海道サーモン協会

会報 『THE SALMON』 No. 6 を発行

同会報は年2回発行しており、今回は08年度前期分。まだ歩き始めのこの会は、市民への浸透度も低く、会報の内容も「会の趣旨」なども訴える一般向けになっています。

主な内容は

- ・ まだ続けるの『カムバックサーモン』！
- ・ 定期総会：07年の事業実績と決算 と 08年事業計画と予算
- ・ 英語でサケを知ろう
- ・ サケの7不思議
- ・ サケを『北海道の魚』に

このうち08年事業の計画については次のように紹介しています。

- ・ 公開市民講座：9月29日開催。自然健康食「サケ」の講話と調理実習
- ・ 夏・冬休み子どもサケ講座：市場見学、サケ学習、食育
- ・ サケ会議と『サーモンロードふれあいの旅』：十勝開催を予定
- ・ サケ学習国際交流：学童12名カナダ派遣（09.3.26～4.3）

その他の事業

- ・ サケ稚魚放流式 ・ 河川観察会 ・ 会報、ブログの発信 ・ 会員交流会 ほか

事務局便り

○ 会員から次の変更連絡がありました。

1. 標津漁業協同組合 窓口の変更：今野昇 → 山村猛（定置部会事務局）

○ アンケートの回答をお願いします

本年の総会・サケ会議を十勝で開催する予定で、ニューズレター3号で参加可否見込みのアンケートをお願いしましたが、回答率 37%にとどまっています。開催準備の都合もありますので、至急ご回答ください。（開催日程は、10月11日：総会とサケ会議 12日：見学としております）

なお、正式な参加可否については9月になってから問い合わせをさせていただきます。

○ 会費納入のお願い

会計年度は1月～12月で、08年度の会費収入予算は51,000円（総会承認額）です。本年度の6月14日現在の会費納入状況は、19団体中3団体です。

誠に恐縮ですが、本年は総会・サケ会議の帯広開催の特殊事情もあり、今後の予算執行に困難が生ずると懸念されますので、早めに納入頂ければ幸いです。

なお、07年度会費の未納についても早急に納入頂きたく、ご確認の程お願い致します。